

# 病害虫発生予察注意報 第2号

富山県農林水産総合技術センター所長

## 斑点米カメムシ類の多発に注意

斑点米カメムシ類が多発しており、斑点米被害の増加が懸念されます。適切な畦畔雑草の管理、出穂後の本田防除の徹底が必要です。

### ◎病害虫名 斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ等)

1 発生地域：県下全域

2 発生程度：多い

3 注意報発令の根拠

- (1) 水稻病害虫発生予察定点調査ほ場周辺の畦畔・雑草地ですくい取りによる調査を行ったところ、平年に比べ、確認地点率は84.4%（平年63.8%）と高く、捕獲頭数も19.4頭（平年6.9頭）と多い（表）。
- (2) イネ科雑草が出穂している畦畔・雑草地で、カスミカメムシ類の生息密度が高い傾向にある。
- (3) 新潟地方气象台によると北陸地方の向こう1か月の気温は平年に比べ高く、降水量は少ないと予報されており、斑点米カメムシ類がさらに増殖するおそれがある。

4 防除対策

#### 【雑草対策】

- (1) 畦畔等の草刈りを実施していないほ場は、7月6日までに確実に実施する。
- (2) イネ科雑草の穂は斑点米カメムシ類の好適な餌となるため、草刈り後もイネ科雑草の穂が出ないように草刈りを徹底する。やむを得ず、出穂している雑草を草刈りする場合は、本田薬剤防除の直前に行う。
- (3) アカスジカスミカメはノビエやホタルイの穂を好むため、水田内の除草を徹底する。

#### 【薬剤防除】

- (1) 「てんたかく」等の早生品種は、穂揃期と傾穂期の2回の基本防除を確実に実施する。また、「コシヒカリ」等の中生品種及び晩生品種は、穂揃期の防除を徹底する。
- (2) 防除の際は、畦畔にも薬剤がかかるように散布する。
- (3) 周辺に雑草地や麦あと等の不作付地があるほ場は、斑点米カメムシ類の発生が多くなる場合があるため、特に防除を徹底する。
- (4) 基本防除後も斑点米カメムシ類がほ場内で確認される場合は、随時防除を確実に実施する。なお、トゲシラホシカメムシが優占する場合は、有機リン剤等で防除する。

※農薬散布にあたっては、事前に周辺住民等に対して十分な周知に努め、周辺作物や住宅地等への飛散防止を徹底するとともに、農薬の使用回数、使用時期等の基準を遵守する。  
※養蜂が行われている地域では、農薬散布前に養蜂業者へ連絡するなど、ミツバチへの危害防止対策に努める。

【参考資料】

◎ 斑点米カメムシ類生息密度調査結果

表 畦畔・雑草地における斑点米カメムシ類調査結果

令和7年6月18・19日調査

	カスミカメムシ類				トゲシラホシカメムシ		合計 (その他カメムシを含む)	
	アカスジカスミカメ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数	確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数
	確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数	確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数				
本年	60.0	10.4	66.7	8.8	17.8	0.2	84.4	19.4
前年	57.8	16.7	42.2	3.5	22.2	0.5	84.4	21.3
平年	35.0	3.7	41.6	2.8	9.8	0.2	63.8	6.9

※20回振りすくい取り調査結果、調査場所：水稻病害虫発生予察定点ほ(45か所)

※平年はH27～R6年の平均値



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



トゲシラホシカメムシ

問合せ先 農業研究所 病理昆虫課  
TEL076-429-2111 FAX076-429-2701